

第 228 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2010 年 12 月 7 日(火) 17 時 30 分~19 時 00 分

場 所: 実習館 2 階 総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 澤木 佳弘 氏

(総合病院中津川市民病院診療部長兼歯科口腔外科部長)

タイトル: 顎矯正治療成績向上のための戦略: 口腔外科と矯正歯科の共通認識のために

医学・歯学の臨床研究には、新しい治療方法の開発や新材料の開発ばかりでなく、これまでの治療法の再評価や改良なども含まれています。EBM が目指すものは、「根拠のある医療」という意味に加えて、臨床家が目の前の患者さんを治療するにあたって、いかにベストな結果に近づけるかということでしょう。この考えを顎矯正治療に当てはめてみると、「どのように診断し」「どのように治療し」「どのような結果となったか」を客観的に評価していく姿勢が大切と考えます。もちろん、口腔外科医や矯正歯科医の「うまさ」とか「数多くこなした」ということも重要なことではありますが、診断・治療計画・結果評価を sophisticate していくことが重要です。

今回の講演では、顎矯正治療のうち上下顎同時移動を必要とする症例へのアプローチを中心に以下の諸点をお話しさせていただきます。

- (1) 矯正歯科と口腔外科の共通認識の必要性
- (2) 手術を前提とした分析とペーパーサージェリーの考え方
- (3) 手術に反映するモデルサージェリーのやり方
- (4) 実際の手術はどのようになされるか (手術ビデオ)
- (5) オトガイ形成や上顎分割など補助手法のやり方

特に顎関節症状の治療を行う中で明らかとなる開咬症や顔面非対称症などについては、より慎重なアプローチが必要となります。口腔外科医と矯正歯科医が共通の認識を持つことで、より高い治療ゴールへの到達できることを目指したいと思います。

略歴

昭和 57 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部卒業

昭和 57 年 5 月 信州大学医学部附属病院医員

昭和 57 年 10 月 佐久市立浅間総合病院歯科口腔外科医師

昭和 62 年 2 月 名古屋大学医学部附属病院医員

平成 5 年 4 月 名古屋大学医学部附属病院歯科口腔外科助手

平成 7 年 10 月 名古屋大学医学部附属病院分院歯科口腔外科講師

平成 10 年 7 月~平成 11 年 1 月 Royal Children's Hospital (Melbourne) 留学

平成 14 年 4 月 総合病院中津川市民病院歯科口腔外科部長

平成 19 年 7 月 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科医長

平成 22 年 1 月~ 総合病院中津川市民病院診療部長兼歯科口腔外科部長

担当: 硬組織疾患制御再建学講座 山田 一 尋